

愛媛県の地震

2020年（令和2年）5月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（5月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（5月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（5月）	3
5. 地震一口メモ 「5月17日の紀伊水道の地震について」	4

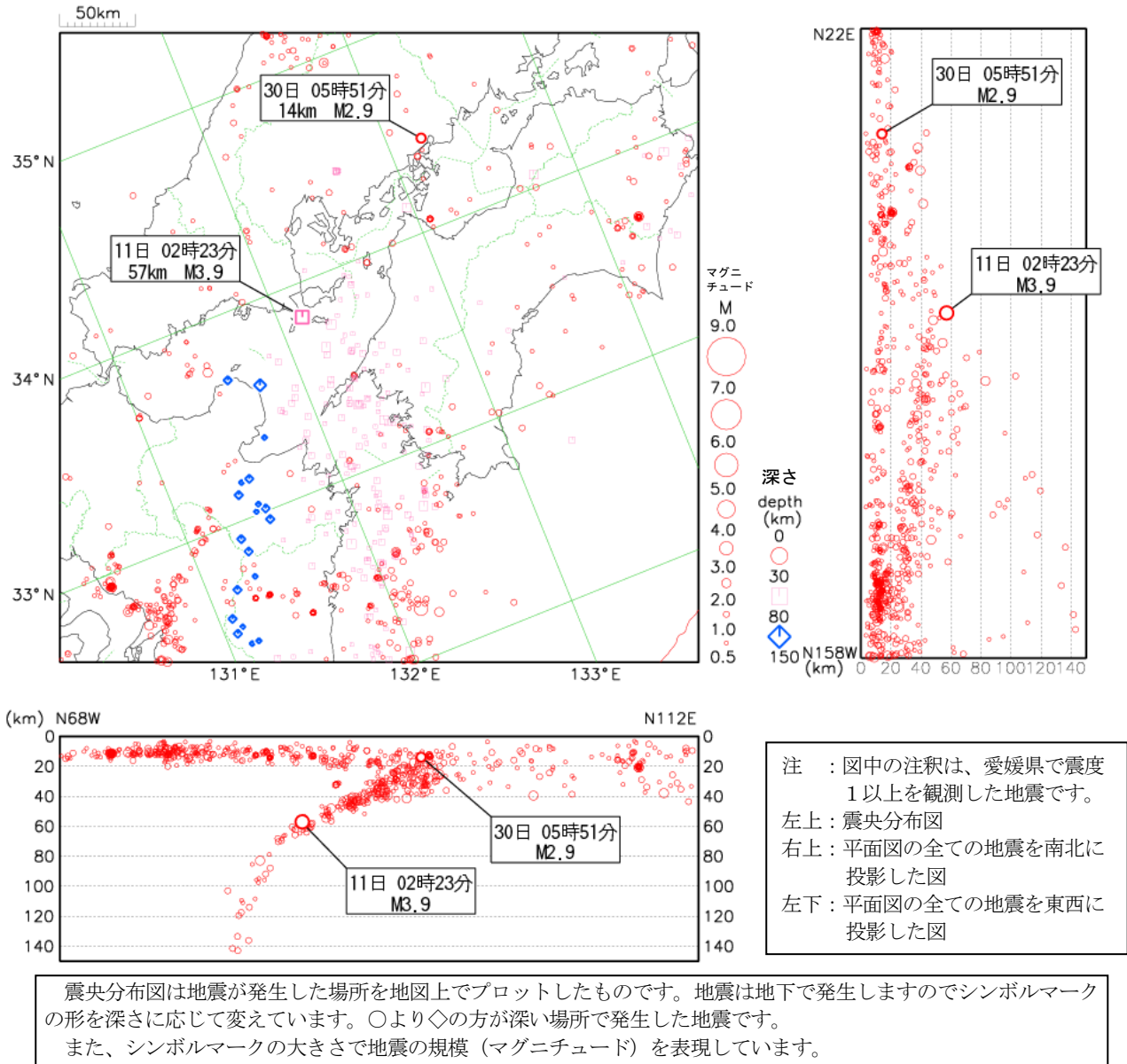
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2020年5月1日～5月31日]



2. 地震概況（5月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は 35 回（先月は 43 回）、愛媛県内で震度 1 以上を観測した地震は 3 回（先月は 4 回）でした。

11 日 02 時 23 分 山口県東部の地震（深さ 57km、M3.9）により、愛媛県松山市、広島県呉市・廿日市市、山口県柳井市・上関町・平生町・周防大島町で震度 2 を観測したほか、広島県、愛媛県、山口県で震度 1 を観測しました。

17 日 20 時 38 分 紀伊水道の地震（震央分布図範囲外：深さ 37km、M4.6）により、徳島県阿南市で震度 4 を観測したほか、近畿・中国・四国地方で震度 3～1 を観測しました。

30 日 05 時 51 分 広島県南東部の地震（深さ 14km、M2.9）により、愛媛県今治市、広島県三原市・尾道市・福山市で震度 1 を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（5月）

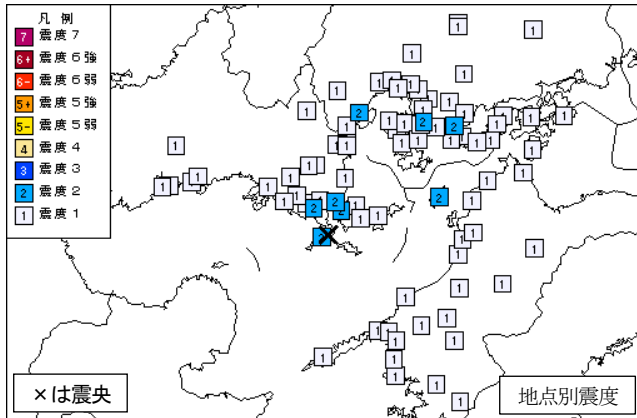
震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2020年05月11日02時23分	山口県東部	33° 50.1' N	132° 08.5' E	57km	M3.9	最大震度2
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 2：松山市中島大浦＊					
	震度 1：今治市南宝来町二丁目, 今治市菊間町＊, 今治市吉海町＊, 今治市上浦町＊ 西条市丹原町鞍瀬, 上島町生名＊, 松山市北持田町, 松山市富久町＊, 松山市北条辻＊ 伊予市下吾川＊, 伊予市中山町＊, 久万高原町久万＊, 宇和島市三間町＊ 八幡浜市五反田＊, 八幡浜市保内町＊, 大洲市肱川町＊, 大洲市長浜＊, 大洲市大洲＊ 内子町平岡＊, 伊方町三崎＊, 伊方町湊浦＊, 松野町松丸＊, 西予市三瓶町＊ 西予市明浜町＊					

2020年05月17日20時38分	紀伊水道	33° 36.5' N	134° 45.2' E	37km	M4.6	最大震度4
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：今治市上浦町＊, 四国中央市新宮町＊					

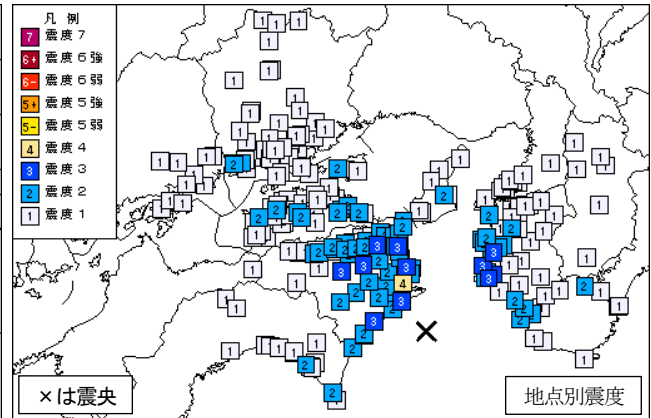
2020年05月30日05時51分	広島県南東部	34° 26.3' N	133° 12.1' E	14km	M2.9	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：今治市上浦町＊					

注：＊印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

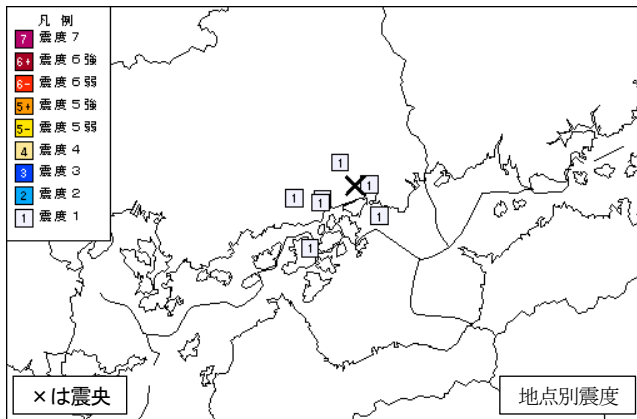
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（5月）



5月11日02時23分 山口県東部



5月17日20時38分 紀伊水道



5月30日05時51分 広島県南東部

5. 地震一口メモ

5月17日の紀伊水道の地震について

17日20時38分、紀伊水道の地震（深さ37km、M4.6）により、徳島県阿南市で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国地方で震度3～1を観測しました（3頁参照）。この地震の発震機構は、東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生しました（図1、図2）。四国地方で震度4以上を観測したのは、2019年11月26日の瀬戸内海中部の地震（深さ16km、M4.6）以来で、この時は愛媛県今治市で最大震度となる震度4を観測しました。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（図1の領域a内）では、2019年3月13日にM5.3の地震（最大震度4）が発生しています。また、今回の地震の震源付近（図2の領域b内）では、M3.0程度の地震が時々発生しています。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（図4の領域c内）では、1970年頃にかけてM6.0程度の地震が時々発生していました。このうち1948年6月15日にはM6.7の地震が発生し、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

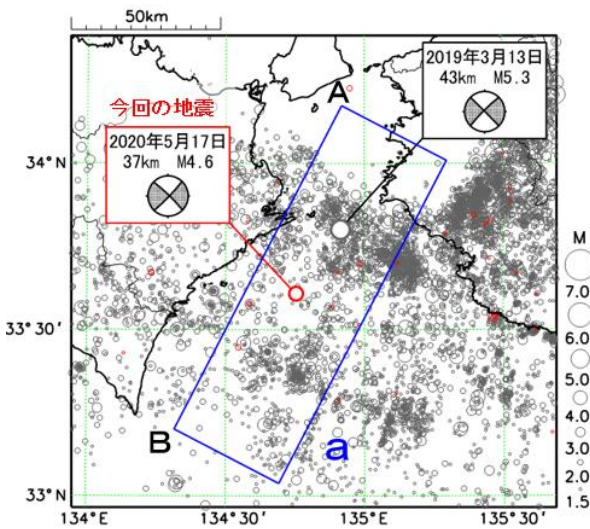


図1 震央分布図
（1997年10月1日～2020年5月31日、
深さ20～80km、M \geq 1.5）

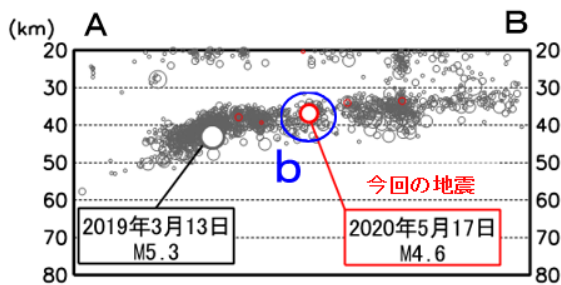


図2 図1の領域a内の断面図（A-B投影）

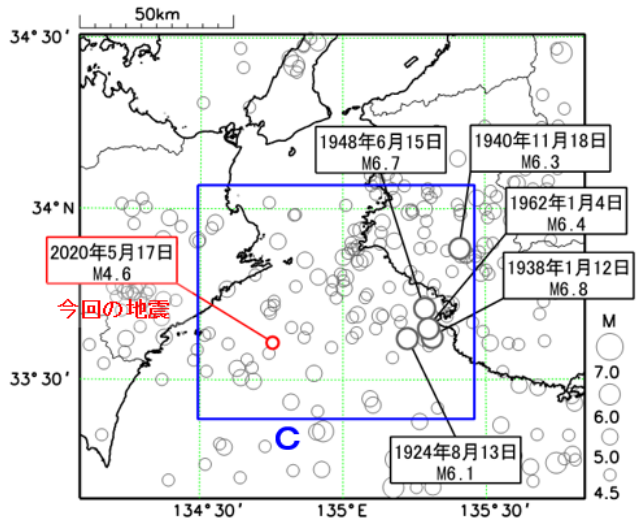


図4 震央分布図
（1919年1月1日～2020年5月31日、
深さ0～100km、M \geq 4.5）

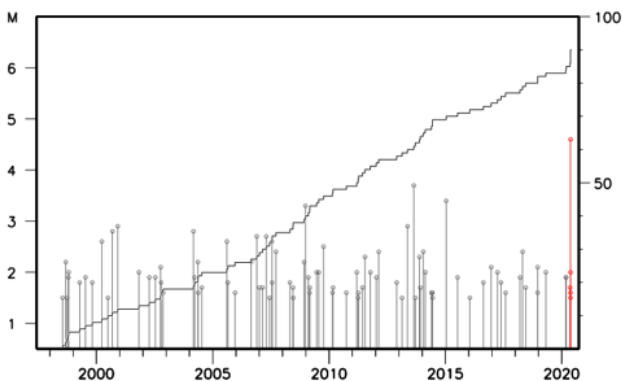


図3 図2の領域b内のM-T図及び回数積算図

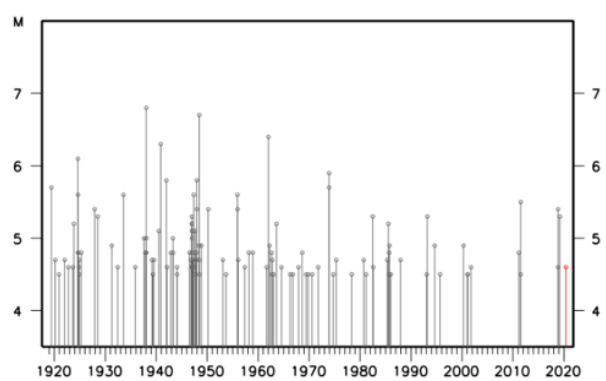


図5 図4の領域c内のM-T図